

# ワンデーレスポンスの実施による工事現場の効率的な施工 —受発注者の円滑な調整により現場作業の中断期間を最低限に—

## 【現状・課題】

○工事現場で発生する諸問題への対応の遅れにより、現場作業の中断が発生しております。

○一方、団塊世代の大量退職に伴い、受発注者において技術力が継承されないという課題があります。



## 【ワンデーレスポンスとは？】

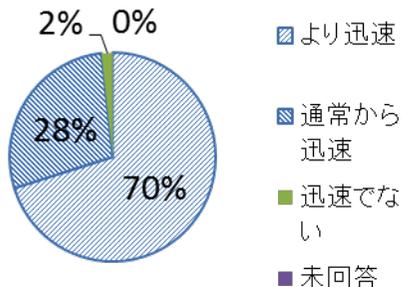
○工事期間が1日延びる損失を受発注者間で認識し、双方で協議事項に対して、即日あるいは設定した期限までに対応することにより、現場作業を中断する期間を最低限に抑える取組みです。



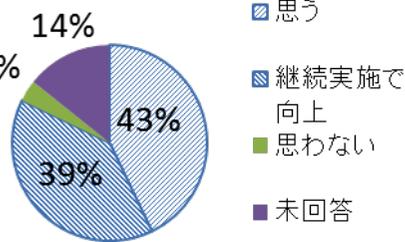
・職場内での迅速な意見交換

・相談内容の資料作成

○発注者からの連絡は通常より迅速か

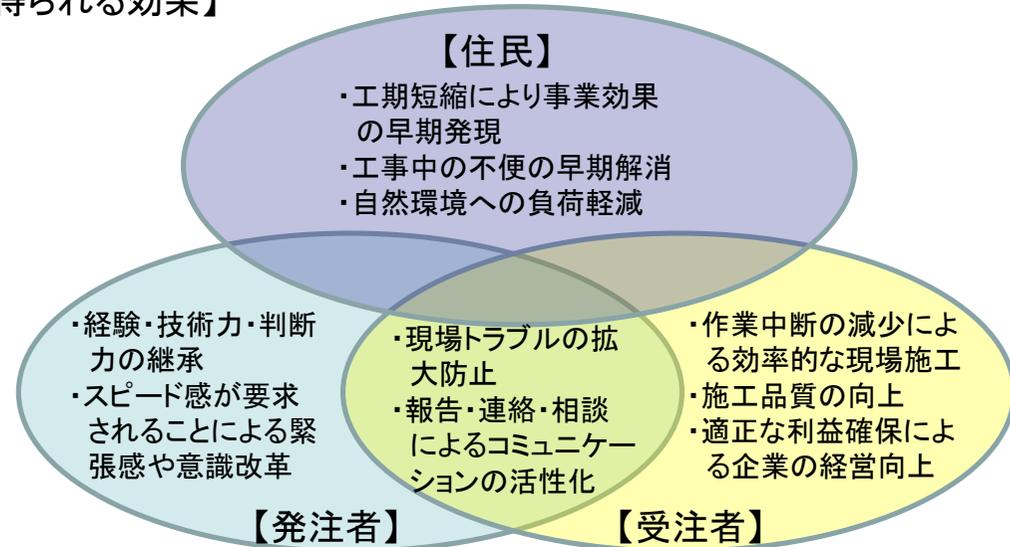


○ワンデーレスポンスにより監督員の技術力が向上したと思うか



【H24試行 アンケート結果】

## 【得られる効果】



## 【実施効果】

○試行を実施した発注者からは、「回答期限を意識する迅速な対応を継続したい。」「即回答を心がけたことで技術力が向上した。」との意見が出ております。

○受注者からは、ワンデーレスポンスの試行を通じて「工事の早期完成が求められていたが、工事中断なく進められた。」「即日回答は工事がスムーズに行えるため大変助かる。」などの意見をいただきました。

○この取組は、平成20年度から施行を開始し、平成25年度からは土木工事で全面的に実施しております。こうした取組に伴う各工事現場の工期短縮の積み重ねにより、工事中の渋滞の早期解消や事業効果の早期発現等につながるものと考えております。